



コールマン presents

# グリーン・カレッジ 2024 沖縄・久米島

特別協賛



協賛



Jackery S&B

特別協力



協力



こしの都ネットワーク  
Koshinoyoko Network



氏名

## グリーン・カレッジにおうぼした理由

ぼくは理科が大好きです。自然や科学の不思議を調べるのが楽しくて、家ではよく実験をしています。

ぼくは沖縄県のめずらしい生き物が見たくてグリーン・カレッジにおうぼしました。

お母さんからグリーン・カレッジに選ばれたと聞いた時、本当にうれしくてずっと楽しみにしていました。

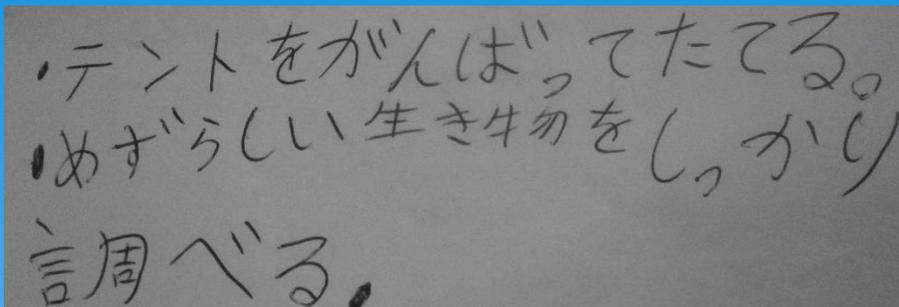
## 出発までにしたこと

- ①料理の手伝い（ほうちょうを使う）
- ②買い物（おつかいに行く）
- ③カメラで写真を撮る練習
- ④じこしょうかいの練習
- ⑤旅のしおり作り（キャンプの予定を確認）

ほうちょうをほとんど使ったことがなかったので、カレーを作って練習しました。

一人で買物をしたこともなかったので、家から歩いて行ける店までおつかいに行きました。

## めあて



・テントをがんばってたてる。  
めずらしい生き物をしっかり  
調べると。

ぼくの家には休けいに使うような簡単なテントしかありません。中で寝ることが出来るようなしっかりしたテントをたてるのは初めてです。むずかしいかもしれないけれど、がんばってたてたいと思いました。

くめ島にはめずらしいホテルがいて、そのホテルについて調べられる場所に行く予定だったのでしっかり調べたいと思いました。

# 1日目:3月27日(水)

13:00

小松空港に集合、開会式

14:00

小松空港を出発

飛行機  
ジンベイジェット

16:30

なは空港に到着



17:15

なは空港を出発

バス

17:30

ホテルに到着

自由時間

19:00

夕ごはん

自由時間  
トランプやウノで遊んだ

?

ねる

早くねようと思っていたのに、  
きんちょうしていてなかなか  
ねむれなかった・・・。



↑小松空港出発の仲間たち！集まってすぐだったから、  
みんなちょっときんちょうした顔してる。



←荷物のチェックを受けたら、  
家族とはお別れ。  
不安よりもワクワクした  
気持ちが大きかった。



もうすぐ沖縄県に到着→



←夕ごはん、ぼくが気に入ったデザート。  
ローストビーフもあったけど、みんなの  
一番人気はポテトだったよ！



夕ごはんの後、部屋に  
集まってトランプやウノ  
で遊んでいるところ。  
楽しかった自由時間→



## 2日目:3月28日(木)

6:30 起きて着がえる

7:30 朝ごはん



自由時間

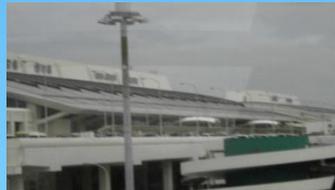
10:00 ホテルを出発

バス

10:15 なは空港にとう着

昼ごはん  
(タコライス)

11:35 羽田空港からのお友達と合流



12:10 なは空港を出発

飛行機

12:50 くめ島空港にとう着

実は、ぼくはタコライスを食べるのが初めてだった。  
ホットチリソースをかけすぎたら  
食べられないくらいからかった！



↑  
ホテルの庭にふん水を発見

←なは市のホテルを出発！  
だんだんみんなと仲良くなってきたところ。

くめ島のゆるキャラ「く～みん」。→  
ホテルの女の子



←飛行機を降りたら本物がいて  
びっくり！！！！

13:30

くめ島空港を出発

バス

14:00

キャンプ場にと到着、開会式

14:15

水分ほ給の大切さ  
(ポカリスエットさん)

14:30

テントレッスン  
(Colemanさん)

3人チームで  
協力した!

15:30

ソーラー発電について  
(Jackeryさん)

16:00

カレー作り  
(S&Bさん)



18:00

夕ごはん

19:00

たき火、マシュマロ焼き

自由時間  
ねる準備

?

ねる

夜中に雨とカミナリの音で目が覚めた。ぼくはなかなかねむれなかったけど、1人ぐっすりねてる子がいてうらやましかった。テントは雨でもへっちゃらだった!



← バスの中から見た島のぜっ景スポット



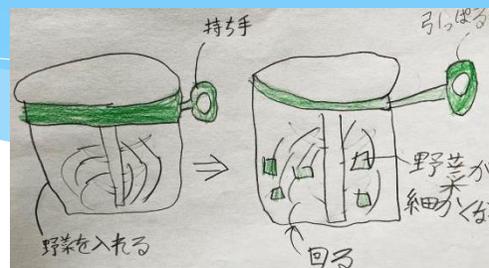
キャンプ場近くの「たたみ石」 → カメのこうらみたいなびびわれが面白かった。



← ポカリスエットはぼくたちの体を作る水分と近い飲み物だから、お茶には入っていない成分もほ給できるんだって。キャンプ中はポカリスエットが飲み放題でうれしかった!



↑ Jackeryプログラムで、ソーラー発電の機械をしょうかいしてもらった。パネルを広げて太陽の光に当てたらちゃんとせん風機が回ったよ! 太陽の光をエネルギーに変えられるなんてすごい、これが家にあったらてい電しても安心だ。キャンプ中にカメラのじゅう電もさせてもらっていた。



← カレー作りで使った道具が面白かった。その道具を使うとかんたんに野菜を細かく切れた。ほうちょうを使うのがちょっと心配だったから助かった! みんなで作ったカレーは家のカレーよりおいしく感じた。

野菜を切る道具

## 3日目:3月29日(金)

5:30 起きて着がえる

6:00 朝ごはん **ホットドッグ!**

7:30 キャンプ場を出発

バス

8:00 くめ島ホテル館に到着

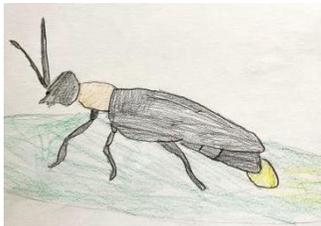
ネイチャービンゴ

10:00 くめ島ホテル館を出発

バス

11:00 昼ごはん **ソーキそば**  
そばと言っても福井で有名な「はい色」のそばとは全然ちがった

転んでしまっ  
ぱんそうこうを  
はってもらった。



←クメジマボタル(写真はとれなかった)  
1993年に発見された。  
よう虫の時は水中でくらすから、  
きれいな水がないと生きられない。

↓バスから見た景色



↑ホテル館のネコちゃん



←くめ島ホテル館  
くめ島だけに生きている  
特別なホテル  
「クメジマボタル」を守る  
活動をしている。  
ホテルを守るためには  
ホテルにつながる生き物  
も守らなきゃいけない。  
今回、クメジマボタル  
は見つけることができ  
なかった。



↑  
エビや魚などたくさんの生き物を見つけた。  
ウナギの赤ちゃん「レプトセファルス」も見ることができた！！

11:50

ウェットスーツに着替え

バス

12:30

グラスボートに乗る

13:00

シュノーケリング

15:20

バスで出発

バス

15:30

キャンプ場にとり着

シャワーをあびて着がえる  
自由時間

17:30

夕ごはん（バーベキュー）

19:00

たき火  
星空を見る

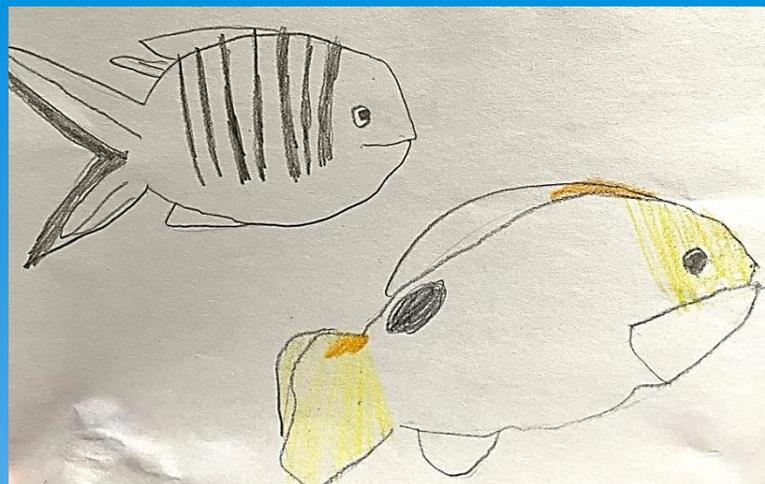
近くの海まで歩いて  
明かりを消したら  
空いっぱい星が！  
流れ星を見た子もいた。  
ぼくも見たかったな…

人ろうゲーム

?

ねる

テントでねるのはすごくむずかしくて、やっぱりなかなか寝れなかった。そんな夜中になんと歯が1本ぬけた！  
いつもは歯がグラグラすると気になるのに、キャンプに集中していて全然気が付かなかったんだ。



↑シュノーケリングで見れた魚

みんなでエサやりをした。近くによってきてくれてかわいかった。  
ぼくのカメラはぼう水じゃなかったから写真はとれなかった。



↑たき火で焼いたマシュマロがおいしかった。  
ちょうどよく焼けると外側がパリッとして、中はトロリ。  
焼きすぎてこげたマシュマロのことを「丸こげ先ばい」とよんで楽しんでた。1日目よりうまく焼けるようになっていたと思う。

夜、友達が持ってきていた「人ろうゲーム」でめっちゃくちゃ盛り上がった。  
みんなでやっているうちにルールが分かるようになった。  
ぼくは「マジシャン」の役が好きだったな。

## 4日目:3月30日(土)

5:30

起きて着がえる

ホットサンド  
特別なコールマンの  
マーク付き!

6:00

朝ごはん

自由時間

8:00

テントをかたづける  
ゴミひろい

自由時間

10:15

閉会式をしてバスで出発

バス

10:45

くめ島空港にとう着

お昼ごはん  
ハンバーガーと  
ちんすこう

12:05

くめ島空港を出発

プロペラ機

12:40

なは空港にとう着

なは空港に向かう便は  
プロペラ飛行機だった!  
羽の下にタイヤがあって  
不思議な形だった。

13:00

なは空港でお買いもの



タコライス味  
のおみやげを  
買った!

14:30

なは空港を出発

飛行機

17:00

羽田空港にとう着  
羽田空港組とお別れ

東京タワーが  
見えたよ。

19:00

羽田空港を出発

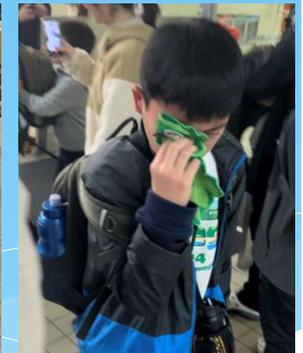
飛行機

20:00

小松空港にとう着

20:30

閉会式



↑ 最後、仲良くなったみんなとのお別れがさみしかった。  
なみだが止まらなくてちゃんとあいさつができなかった。

# テントレスンについて



テントの立て方についての説明を聞いて、3人で1つのテントを立てた。ポールを入れるのがむずかしかったけど、みんなで協力してなんとか立てることができた。

分からないところを1回だけ聞いたけど、自分たちで完成できてうれしかった。テントは平らなところに立てるのが大事ということが分かった。

テントのかたづけは思っていたより大変じゃなかった。ポールを入れるのはむずかしかったのに、ぬくのはかん単だった。

テントをしまった後、ゴミひろいをしてキャンプ場をきれいにした。「ゴミは半分、思い出は2倍に」、お世話になったキャンプ場に感しゃして来た時よりもきれいにして帰った。



ファスナーを全部開けるとふとんみたいに使うこともできるすぐれものだ！ →



↑ Coleman【ヘッドライト】  
バッテリーガードLEDヘッドランプ/200は夜のテントでも明るくてバッチリ見えた。

Colemanの【バックパック】ウォーカー15は横のポケットにポカリスエットのボトルやおりたたみがさがすっぽり入るし、はっ水加工だから雨もはじく。内側にはポケットやキーフックがあってとても便利 →

グッドキャンパーを目指して、帰ってからさっそく道具をメンテナンスした。  
Coleman【スリーピングバッグ】  
スクールキッズ/C10  
はせんたく機で洗えてビックリした。

↓ 147cmのぼくが入ってもまだよゆう



← いただいた、たくさんのおみやげ。  
キャンプ中に転んでケガをして  
ニチバンのばんそうこうに  
すごく助けられた！  
キャンプにケガはつきもの、  
今度からしっかり持って行こう。  
S&Bのカレー、家族にもごちそう  
できるからうれしい。



# 沖縄県で見つけた植物や生き物について

## 植物



↑ なは市でみたハイビスカス  
ぼくの家で売られている物は  
「はち植え用」であまり大きく育たない。  
沖縄県だから大きく育つらしい。



↑ なは市でみたヤシの木  
沖縄県にはいろんなヤシの木が  
道路ぞいに植えられている！



↑くめ島で見つけた木「アダン」  
パイナップルかと思ったけど実は  
「アダン」という別物だった！  
夏になるとあまいかおりを出すけど、  
実に細かいトゲがあってふつうは  
食べないらしい。

← くめ島の海辺で、ヤシの実を発見！



## 生き物



← クメジマボタル  
くめ島にしかいないめずらしいホタル。  
飛ぶのが見られるのは4月半ばからだった。  
よう虫の時は水中でくらすのが特ちょう。

ロクセスズメダイ(左上) →  
沖縄の海でよく見られるたてじまの魚。  
海の浅いところによくいるらしい。



ミツボシキュウセン(右下) →  
体に黒い3つの点があるから「ミツボシ」  
の名前がついたといわれている魚。  
この魚も海の浅いところにいるらしい。



← ホタル館で見つけた「アナゴ」



↑  
ウナギの赤ちゃん「レプトセファルス」



← ホタル館で見つけた「エビ」  
赤ちゃんエビといっしょに発見！

☆おまけ☆

キャンプ場のねこちゃんたち →  
名前をよぶと近くによって来てくれた。



ぼくの四日間の大ぼうけん

ぼくはグリーン・カレー<sup>ッ</sup>ジに選ばれてもうれしかったけど、出発するまでは家族とはなれて行くことに不安がありました。参加してみても、今までしたことがないような色んな体験をさせてもらえて、やっぱりおうぼして良かったと思います。

グリーン・カレー<sup>ッ</sup>ジの四日間は、短くも長くも感じました。カレー作りやホテル館の見学、シェノケリング、たき火でマシマロを焼いたのはすごく楽しくてあつという間に時間がすぎていきました。自由時間にはみくなどで、スラッグゲームでもり上がり、すぐにたくさんの友達ができました。

長く感じたのは夜の時間です。ぼくはテントで寝るのになれていなくて、雨やカミナリの音、生き物の声で目が覚めてしまい全然寝た気がしませんでした。ねむれない夜はすごく長く感じました。へなんと、そんな夜にぼ

くの歯が一本ぬけました！  
楽しみにしていためずらしい生き物、くめ  
島にしかいない「クメジマボタル」は見つけ  
ることができませんでした。でも、四年生の  
国語のいっ業で習ったウナギの赤ちゃんッレ  
プトセファルスレを自分の目で見ることで  
きてうれしかっただです。

旅の最後、空港でお父さんとお母さんの顔  
を見たとき色んな気持ちがあふれてきてなみ  
だが止まりませんでした。家に帰るホッとし  
る気持ちもあっただけど、今までいっしょにす  
ごしてきた友達とお別れするさみしさと楽し  
かっただきゃンプの思い出が頭の中でゴチャゴ  
チャになっただなみだになっただ出てきてしま  
いました。本当は、ちゃんとみんなとお別れを  
したかっただです。

ぼくはグリーン・カレッジでたくさんの事  
を教えてもらいました。きゃンプのマナー、  
きゃンプ場であるむずかしさ、水分ほ給の大  
切さ、自然の中で電気を作る工夫、外で作っ

て食べるカレーの美味しさ、生き物の大切さ、  
空いっばいの星、友達と活動する楽しさ、全  
部全部ぼくの大切な思い出です。

最後に、ぼくたちの旅を助けてくれた大人  
の方にお礼を伝えたいです。夜中のトイレが  
こわくないようにコールマンスタンで明る  
くしてくれて、急な雨でくつがぬれないよう  
に教えてくれて、ポカリスエットを飲み放題  
にしてくれて、ソーラー発電でオメラのじや  
う電をさせてくれて、美味しいカレーの作り  
方を教えてくれて、思い出をさつえいしてく  
れて、こんなに楽しいキャンプにしよう待し  
てくれてありがとうございました。ホテル館  
で転んで足のけがをした時、ねむれなくてせ  
きが出た時、やさしく声をかけてもらえたか  
ら最後まで楽しくキャンプに参加できました。  
本当にありがとうございました!!

ぼくは今年、もうっただグリーン・カレー  
のイベントをたくさん着ようと思っ  
ています。  
キャンプの仲間がぼくに気がつくといいな。

## グリーン・カレッジを終えて (保護者より)

息子は帰宅の道中からあふれ出すかのように思い出を語り始めました。一人での旅、テントでの生活、初めての体験、キャンプ中の出来事はなにもかもが衝撃だったようです。絵は得意ではないのですが、写真に撮ることができなかった部分を伝えようと一生懸命描いて家族に教えてくれました。

実は息子が一番に語っていたのは、困ったときに助けてくださったスタッフさんへの感謝の気持ちです。慣れないキャンプで不安もあったかと思いますが、手厚いサポートのお蔭で最後まで楽しんで帰ってきてくれたのだと思います。

息子にとってグリーン・カレッジは間違いなく一生思い出に残る大冒険になったと思います。素敵な体験をさせていただき、本当にありがとうございました！

